

秋の虫と仲良くなろう！バッタ

木下順次（千葉市）

日 時：2020年9月13日（日）10時～12時 天候：晴れ
参加者：大人7名、子ども8名 計15名 指導員6名
担当指導員：山田益弘・山下美佐子・木下順次

後年、ライフスタイルが一変した年として記憶されるであろうコロナ禍の続く中、およそ半年ぶりに再開されることになった昭和の森観察会である。

事前予約制・15名限定・三密回避対策など、これまでの観察会とは異なる対応が求められる中での再会であったが、公園事務所の皆さんにもご対応いただきながら、検温・受付などを済ませ、これまで通りの観察会の開始である。

酷暑もやっと収まり、暑さも少しやわらぐなか、低学年から幼稚園児が中心の子どもたちは元気に走り回りながら次々に生き物を見つけていく。バッタ、チョウ、トンボ、セミ、カエル、アリ、クモなど秋の生き物たちと、仲良く遊ぶことができた。



観察会は最初から3班に分かれて、参加者5名に指導員1名が対応した。密にならないよう、一か所にとどまらず、園内を回りながら各々興味を持ったものを自由に観察し

てもらい、要所々々で説明をするという体で進めた。

原則は各人距離を置いての観察だが、写真の通り、子どもに徹底するのは困難である。

万が一のことを考えると、参加時の体調チェックや手指の消毒、マスク着用の徹底など、主催者側はできる限りの対応策を取っておくことが、少しでもリスクを小さくするため大変重要である。

大きなトノサマバッタは見つからなかったが、参加の子どもたちや親御さんたちは秋の虫と存分に触れ合えたのではないかしらと思うし、なにより我々にとっても久しぶりの観察会で、気持ちの良い秋のひと時を過ごせたことをうれしく思う。

